

～どこの空にもオスプレイはいらない!～ オスプレイ配備に反対する市民学習会

講師: 頼 和太郎さん(リムピース・編集長)
講演: オスプレイ配備と「土地規制法」をめぐる情勢と
問題点(仮題)

《講師紹介》

●頼 和太郎さん(「リムピース」編集長)

「リムピース」は、ウェブサイト「追跡! 在日米軍」(1996年12月
発信開始)を運営する市民団体で、米軍や基地の動向・活動実態を鋭い
視点で情報提供しています。2012年には、いち早く「オスプレイ配
備の危険性」(真喜志好一・リムピース共著)を出版し、社会に警鐘を
鳴らしました。



軍拡と監視で市民の目と耳と口をふさぐスガ政治にノーの審判を!!

世界が認める欠陥軍用機オスプレイ。墜落や故障
を繰り返し、アメリカ以外で配備を決定したのは日
本だけです。昨年7月、陸上自衛隊のオスプレイ2
機が木更津に配備され、さらに5機配備されてしま
いました。来年の3月までに3600億円もかけて
計17機が木更津に配備される予定です。このオス
プレイの主たる訓練飛行先の一つが習志野演習場で
あり、その訓練開始もまもなくとされています。

この間、アベ政治を継承したスガ内閣は、めちゃ
くちな法案を強行可決し続けています。たとえば
「重要土地等調査規制法」です。習志野演習場など
の自衛隊基地や、原子力発電所などの周囲約1キロ
や国境離島を「注視区域」に指定して、政府に所有
者の調査権限を与えます。土地取引の際に事前届け
出を義務付け、勧告・命令に従わない場合の罰則も
盛り込んでいるのです。個人情報や財産権を侵害し、
世にも恐ろしい監視社会と「戦争する国づくり」に

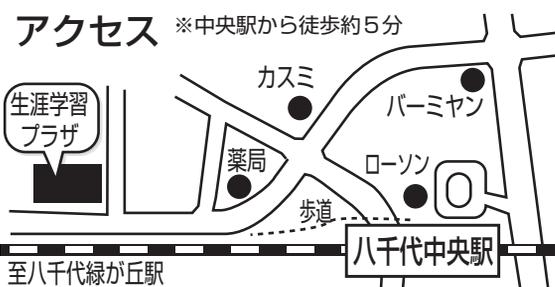


▲沖縄の海に墜落、大破したオスプレイ

向けた軍拡路線を背景にオスプレイ配備があります。

コロナ対策の失敗で国民の命と生活、中小事業主
の経営難など、国民生活は困窮しており、党議員や
身内のスキャンダル、民意不在のオリパラ強行方針
などで支持率が激減したスガ政権のレームダック状
態は明らかです。いま求められているのは、スガ政
治に変わる市民の命と生活を優先する政治の実現で
す。市民が安心して暮らせる街にするために、みん
なでオスプレイ配備に反対しましょう!

- 日 時: 7月11日(日)午後1:30~3:30
- 会 場: 八千代生涯学習プラザ(第1~第2研修室)
- 主 催: オスプレイいらない!八千代ネットワーク
- 電 話: 090-6473-3172(三田)
- メール: 4111920001@jcom.home.ne.jp



陸上自衛隊習志野演習場・駐屯地、周囲約1キロメートルの目安図

